

米国トランス・ステーツ・ホールディングスと

MRJ 100機購入に関する覚書を締結

三菱航空機は米国のトランス・ステーツ・ホールディングス社（TSH）との間で次世代リージョナルジェット機 MRJ（Mitsubishi Regional Jet）100機購入に関する覚書を締結した（確定50機、オプション50機）。TSHはミズーリ州セントルイスに本社を置き、傘下にいずれも米国の大手リージョナル航空会社である Trans States Airlines、GoJet Airlines という二社を保有し、米国大手航空会社であるユナイテッド航空と US エアウェイズから、フィーダー路線（ローカル都市への接続路線）の運航サービスを受託している。

今回 MRJ を発注した TSH 社長リチャード・A・リーチ（Richard A. Leach）氏は、「MRJは素晴らしい航空機であり、今回100機購入の覚書を締結できたことを大変嬉しく思う。また、我々が、MRJにコミットする米国初の航空会社であるだけでなく、日本国外で初めての航空会社であることを誇りに思う。MRJは環境、乗客、エアラインを重視した革新的なリージョナルジェット機である。MRJがもたらす低燃費、低騒音、低排出ガスなどの環境性能は、エアラインの運航コスト低減に直結する。更に、リージョナルジェット機の中で最大の客室を持ち、新設計の座席と低騒音のエンジンを組み合わせた MRJ は、他のどのリージョナルジェット機にも勝る快適な空の旅をお客様に提供できる。TSHは、米国で有数のリージョナル航空会社を傘下に持ち、毎日350便を50都市間で運航し、年間500万人あまりのお客様にサービスを提供している。この素晴らしい次世代のリージョナルジェット機が当社の路線に就航する日を待ち望んでいる」と語った。

当社社長の江川豪雄は「MRJへの注目と期待は世界中で高まっている。中でも米国には50-90席クラスのリージョナルジェット機を運航する数多くの路線があり、今回、米国最大手のリージョナル航空会社を傘下に持つ TSH 社から発注を受けたことを大変心強く思っている。これを機会に、世界中での販売にさらに力を入れて行く」と述べた。

江川はさらに、「MRJの設計は順調に進捗している。最先端の空力設計と画期的なエンジンの組み合わせは、低燃費、低騒音、低排出ガスなど環境への貢献をもたらす。これは、エアラインの競争力と収益力を大幅に高めると同時に、より多くの空港で MRJ が運用できることにつながる。また、MRJは、既存のリージョナルジェット機よりはるかに快適な客室空間を提供する。環境、乗客、エアラインのそれぞれにこれまでにない新しい価値を提供することにより、MRJは次世代リージョナルジェット機の新たなスタンダードを創造すると信じている」と述べた。

今回の発注により、2008年3月27日に発表した全日本空輸株式会社（ANA）からの受注25機（確定15機、オプション10機）を合わせて、MRJの合計受注機数は125機（確定65機、オプション60機）となる。

三菱航空機株式会社について

三菱航空機株式会社（通称：MJET）は、三菱リージョナルジェット（MRJ）の設計、型式証明取得、資材調達、販売、カスタマー・サポートなどを担当する事業会社として2008年4月1日に事業を開始した。現在の資本金は1,000億円で、三菱重工、トヨタ自動車、三菱商事、住友商事、三井物産他数社が出資している。

MRJについて

MRJは世界最高レベルの運航経済性と客室快適性を兼ね備えた70～90席クラスの次世代リージョナルジェット機。『最先端の幹線機技術を適用し、次世代リージョナルジェット機のスタンダードを創造する。環境、乗客、エアラインへ従来にない新しい価値を提供する。』というビジョンの下、三菱重工がこれまで防衛・民間航空機分野で数多くの開発・製造を行うことで培ってきた世界最先端の航空機開発・製造技術力をベースに三菱航空機株式会社が開発を行なっている。世界最先端の空力設計技術、騒音解析技術などの適用と、最新鋭エンジンの採用により、大幅な燃費低減を実現するとともに、騒音、排出ガスも大幅に削減する。これら圧倒的な運航経済性と環境適合性により、エアラインの競争力と収益力の向上に大きく貢献することを目指す。また、1列4席の配置、大型のオーバーヘッドビンの装備、新型スリムシートなどの採用により、これまでのリージョナル機にはない快適な客室空間を提供する。

トランス・ステーツ・ホールディングス社（TSH）について

1998年創立のTSHは、米国のリージョナル航空会社2社、トランス・ステーツ・エアラインズとゴージェット・エアラインズの親会社である。本社をミズーリ州セントルイスに置く。1982年にリゾート・エアーの社名で設立されたトランス・ステーツ・エアラインズは、独立リージョナル航空として米国2位の規模に成長している。同航空は、ユナイテッド・エクスプレス便とUSエアウェイズ・エクスプレス便を運航している。現在、50席のエンブラエル・リージョナルジェット機材を使用し、年間350万人弱の旅客にサービスを提供している。トランス・ステーツ・エアラインズに関する詳しい情報はwww.trnsstates.netをご参照ください。TSHのもう一つの航空会社、ゴージェット・エアラインズは、2005年に旅客運航サービスを開始した。ユナイテッド・エクスプレス便を運航し、25都市を結んでいる。ゴージェットの66席ボンバルディアCRJ700機材に、年間、乗客150万人が搭乗している。さらに詳しい情報はwww.gojetairlines.comをご参照ください。これら2航空会社を所有するトランス・ステーツ・ホールディングスのリージョナル航空の社員数は1,500名で、合計すると、毎日350便を50都市間で運航し、年間約500万人の乗客にサービスを提供している。

以上